

第Ⅱ期亀山市子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の考え方

(量の見込みとは)

子ども・子育て支援事業計画を策定するうえで、最も重要な要素の一つである保育等のニーズ量とその対応などを示す「量の見込み」と「確保の方策」があります。

このうち、「量の見込み」については、平成31年1月に実施した「子ども・子育てに関するアンケート調査」による集計値を分析し、様々なサービス等の需要を算定します。

1. 将来人口

将来のニーズを推計するには、各年度の人口の推移が最も基本的な要素となります。

将来人口の推計については、亀山市人口ビジョン（H29.2改訂）において示している本市の将来人口の推計値（基本推計・将来展望）があります。亀山市人口ビジョンについては、国勢調査人口を基に、2060年までの長期の推計になっています。

一方、人口を示す指標として、住民基本台帳人口があり、実績数値を基に、新たに推計を作成することができます。

(人口ビジョンと住民基本台帳の違い)

区分	起点	推計期間(周期)	年齢区分
人口ビジョン	2010国調	2010~2060(5年)	5歳刻み年齢
住民基本台帳推計	2019	2019~任意(1年)	1歳刻み年齢

上表のとおり、人口ビジョンについては、超長期の人口推計になっているため、推計期間や年齢区分が細分化されておらず、大きな視点での推計となっています。

一方、住民基本台帳推計については、国勢調査との人口の乖離はややありますが、年齢別の人口推計となり、毎年度の推移を把握することができる、細かい推計となっています。

今回策定する「第Ⅱ期亀山市子ども・子育て支援事業計画」については、5年間の計画で、各年齢によって利用対象の異なるサービスなどの利用ニーズを年度ごとに算出する必要があります。そのため、年度による年齢別人口のバラつきなども含めた推計を行うことが、正確な利用ニーズを把握することにつながる、と考えられます。

そのため、本計画の推計人口については、住民基本台帳人口に基づく推計を使用することとします。

〔計画期間内における年齢別人口の推計〕

年齢	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024
0歳	400	396	392	387	382
1歳	426	414	410	406	401
2歳	390	429	417	413	409
3歳	445	392	431	419	415
4歳	446	444	391	430	418
5歳	486	451	449	395	435
6歳	468	491	456	453	399
7歳	485	472	495	460	457
8歳	481	482	469	492	457
9歳	515	481	481	468	491
10歳	508	516	482	482	469
11歳	485	506	514	480	480

※ 参考「第Ⅱ期亀山市子ども・子育て支援事業計画の策定における人口推計」参照

2. 量の見込みの基本的な算出方法

将来人口の推計値と、平成31年1月に実施した「子ども・子育てに関するアンケート調査」を基礎データとして、必要な分析を行い、将来の各種サービスの提供の「量の見込み」を算出します。

各サービスに応じて、分析の内容は異なりますが、基本的な算出方法は次の算出によります。

(基本算式)

$$\begin{array}{l} \boxed{\text{推計児童数}} \quad \times \quad \boxed{\text{家族類型(割合)}} \quad = \quad \boxed{\text{家族類型別児童数}} \\ \\ \boxed{\text{家族類型別児童数}} \quad \times \quad \boxed{\text{利用意向率(割合)}} \quad = \quad \boxed{\text{ニーズ量}} \end{array}$$

(1) 家族類型の分析

量の見込みを算出するうえで、最も基本となるのは、子育てを行う世帯の家族構成となります。中でも、両親の就労の状況による傾向の差が最も顕著になると考えられます。

また、各種サービスについては、対象児童の年齢によって内容や利用意向も違いがあります。

以上の2点を踏まえ、A～Fの6つの区分を基本に分類します。

〔家族類型のパターン〕

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	77	6.8%	77	6.9%
タイプB フルタイム×フルタイム	353	31.3%	391	34.9%
タイプC フルタイム×パートタイム	396	35.1%	403	36.0%
タイプD 専業主婦(夫)	296	26.3%	245	21.9%
タイプE パート×パート	3	0.3%	3	0.3%
タイプF 無業×無業	2	0.2%	2	0.2%
全体	1,127	100.0%	1,121	100.0%

※全体集計結果。必要に応じて児童の年齢別に細分析を行う。

これらのタイプの分類は、主に支給認定に関する分類を行う際の基本となります。いわゆる保育の必要性を有する2・3号認定とそれ以外となる1号認定に分類します。

1号認定 タイプC D E F
2・3号認定 タイプA B C E

(2) 利用意向割合

量の見込みを算出するサービスごとに、利用者の利用意向は異なります。

そのため、アンケート調査の結果を基に、各種サービスの利用意向を推定します。

サービスの内容と、主なアンケートの設問は次のとおりです。

〔平日日中の教育・保育〕

- ・保育所、幼稚園、認定こども園など、平日の日中に利用する教育・保育に関するニーズ
主なアンケート設問：問20-①平日日中に受けてほしい教育・保育施設の希望施設 など

〔時間外保育事業〕

- ・平日に中の教育・保育を利用しつつ、長時間の利用を求めるニーズ（2・3号の延長保育）
主なアンケート設問：問20-②平日日中に受けてほしい教育・保育施設の希望時間 など

〔放課後児童健全育成事業〕

- ・放課後児童クラブの利用に関するニーズ

主なアンケート設問：問28-①放課後児童クラブの利用意向 など

〔子育て短期支援事業（ショートステイ）〕

- ・さまざまな事由により、一時的な子どもの見守りを必要とするニーズ

主なアンケート設問：問27 直近1年間での必要日数 など

〔地域子育て支援拠点事業〕

- ・主に未就園児が利用する地域子育て支援センターの利用ニーズ

主なアンケート設問：問37 地域子育て支援センターの利用状況

〔一時預かり事業〕

- ・幼稚園における一時預かりのニーズ

主なアンケート設問：問26 一時預かりなどの利用意向 など

〔病児・病後児保育〕

- ・病児・病後児の見守りに対するニーズ

主なアンケート設問：問24 病児の対応の状況 など

〔子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター）（就学児）〕

- ・就学児児童が子育てサポートセンターをなどの子育て援助活動を利用するニーズ

主なアンケート設問：問25 子育て援助事業の利用状況 など

3. 量の見込みの補正について

アンケート調査の結果を直接的に分析するだけでは、適切な「量の見込み」を算出することが難しい面があります。

第2期子ども・子育て支援事業計画の策定を進める中でも、直接的な算出結果と、亀山市の実情との乖離状況などを踏まえつつ、必要な補正を行うこととします。

具体的な補正は、今後、検討することとしますが、基本的な補正として、アンケートの配布・回収の状況を踏まえたデータの偏在是正を行います。

(3) 配布率・回収率によるアンケート調査の偏在の是正

就学前児童のアンケート調査については、在園児と未就園児でアンケート調査の配布率が異なります。中でも、3歳未満児は在園児の占める割合が高いことから、単純集計の結果からはニーズの高く出る傾向が強くなります。そうしたことから、実質的な量の見込みを算出するにあたっての数字の信頼性が低くなるため、配布率・回収率を踏まえた基礎数値の補正を行うこととします。

一方、3歳以上児は、多くの児童がいずれかの施設を利用しているケースが大多数を占めるため、配布率・回収率による基礎数値の補正は行わないこととします。

〔3歳未満児の補正の考え方〕

- ・0歳児、1歳児のうち在園児については、100%配布に対し、97.8%の回収となり、ほぼそのすべてが把握できている、と言えるため、集計値をそのまま使用します。
- ・0歳児・1歳児のうち未就園児、2歳児については、配布率、回収率がそれぞれ異なることから、集計値に対し、次の補正率を乗じた値を補正後基礎数値として使用します。

年齢等		配布率	回収率	補正率
0歳児	(在園)	100.00%	97.80%	× 1.022 ※
	(未就園)	61.00%	63.90%	× 2.565
1歳児	(在園)	100.00%	97.80%	× 1.022 ※
	(未就園)	35.70%	63.90%	× 4.384
2歳児	(在園)	100.00%	97.80%	× 1.982
	(未就園)	35.90%	63.90%	× 4.359

(参考：就学前児童のアンケート配布・回収の状況)

施設名		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	配布数	回収数	回収率
保育所系	第一愛護園	7	8	15	22	22	21	95	55	54	98.2%
	第二愛護園	3	7	13	21	17	18	79	44	44	100.0%
	みなみ保育園	5	10	14	21	18	18	86	48	46	95.8%
	神辺保育園	4	9	15	15	15	17	75	42	42	100.0%
	屋生保育園	1	7	10	10	11	12	51	27	27	100.0%
	和田保育園	6	8	21	18	19	19	91	51	51	100.0%
	川崎南保育園	3	7	15	20	21	18	84	47	47	100.0%
	加太保育園	1	2	4	6		6	19	11	11	100.0%
	関認定こども園アスレ	9	15	21	47	41	48	181	99	97	98.0%
	第三愛護園	1	4	5	4	8	10	32	17	17	100.0%
	亀山愛児園	10	24	27	23	29	28	141	87	87	100.0%
	川崎愛児園	9	15	20	21	21	21	107	62	62	100.0%
	野登ルンビニ園	3	12	14	17	18	12	76	44	43	97.7%
	なのはな保育園	6	18	17	18	14	18	91	56	47	83.9%
	ちびっこかめやま園	5	7	5				17	15	15	100.0%
	かめ愛こどもの家	6	4	8				18	14	13	92.9%
保育系施設計	79	157	224	263	254	266	1,243	719	703	97.8%	
幼稚園系	亀山幼稚園				25	21	26	72	35	35	100.0%
	みずほ台幼稚園				24	22	27	73	36	35	97.2%
	亀山東幼稚園				25	19	25	69	33	33	100.0%
	井田川幼稚園				18	17	25	60	29	29	100.0%
	みずきが丘道伯幼稚園			20	90	111	101	322	156	114	73.1%
幼稚園系施設計			20	182	190	204	596	289	246	85.1%	
総合計	79	157	244	445	444	470	1,839	1,008	949	94.1%	
配布数	79	157	126	216	210	220	1,008				
	100.0%	100.0%	51.6%	48.5%	47.3%	46.8%					
未就園児(郵送分)	192	86	71				349	349	223	63.9%	
(配布率)	61.0%	35.7%	35.9%								

第Ⅱ期亀山市子ども・子育て支援事業計画の策定における人口推計

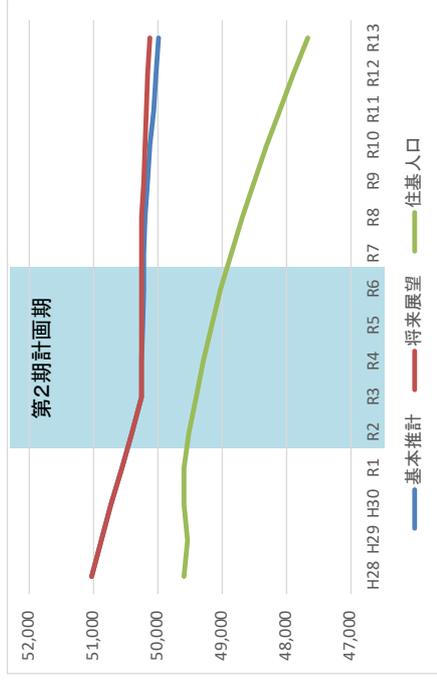
参考

(単位：人)

	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	
人口ビジョン																			
※1																			
基本推計	51,022	50,868	50,714	50,560	50,406	50,254	50,242	50,230	50,218	50,206	50,196	50,154	50,112	50,070	50,028	49,984	49,919	49,854	
将来展望	51,022	50,868	50,714	50,560	50,406	50,254	50,252	50,250	50,248	50,246	50,242	50,219	50,196	50,173	50,150	50,126	50,092	50,058	
住民基本台帳人口																			
実績値	49,584	49,530	49,599	49,594	49,509	49,403	49,283	49,152	49,015	48,855	48,684	48,499	48,308	48,104	47,889	47,663	47,431	47,185	
推計※2																			
比較																			
(基本-住)	1,438	1,338	1,115	966	897	851	959	1,078	1,203	1,351	1,512	1,655	1,804	1,966	2,139	2,321	2,488	2,669	
比率	2.9%	2.7%	2.2%	1.9%	1.8%	1.7%	1.9%	2.2%	2.5%	2.8%	3.1%	3.4%	3.7%	4.1%	4.5%	4.9%	5.2%	5.7%	
比較																			
(展望-住)	1,438	1,338	1,115	966	897	851	969	1,098	1,233	1,391	1,558	1,720	1,888	2,069	2,261	2,463	2,661	2,873	
比率	2.9%	2.7%	2.2%	1.9%	1.8%	1.7%	2.0%	2.2%	2.5%	2.8%	3.2%	3.5%	3.9%	4.3%	4.7%	5.2%	5.6%	6.1%	

第2期計画期間

※1：人口ビジョンは5年ごと数値のため、中間年は平均的に推移するものとして算出
 ※2：推計は、住民基本台帳の実績値に基づき、コーホート変化率法により算出



【第2期亀山市子ども・子育て支援事業計画における人口の推計の考え方】

人口ビジョンについては、人口減少社会に適切に対応していくため、平成27年度に策定したもので、第2次総合計画の策定に合わせ、平成28年度に改訂されています。人口ビジョンにおいては、2060年までの長期にわたる将来の人口推移を予測し、市の人口減少対策を効果的に進めるうえでの指針となるものです。そのため、これまでの傾向から導かれた「基本推計」と、政策誘導効果を含めた「将来展望」の2つの人口推計を示しています。なお、これらの数値については、国勢調査の人口を基礎数値として推計を行っています。

本市の人口ビジョンをみると、「基本推計」と「将来展望」については、前半は大きな差がない推計となっています。一方、住民基本台帳人口(住基人口)の近年の実績値と比較すると、1.9%から2.9%ほど推計よりも低くなっていますが、やや乖離が小さくなってきている傾向がみられます。

また、平成27年から平成31年の住基人口を基に、コーホート変化率法を使用した推計を行い、人口ビジョンとの乖離状況を見ると、令和13年(2031年)以降は5%以上の乖離がみられるのに対し、第2期計画期間内においては、1.7%から2.5%と乖離幅は実績値と同水準であることから、住基人口を基にした推計を使用することがもつと適切であると考えられます。

こうしたことを踏まえ、第2期亀山市子ども・子育て支援事業計画における量の見込みを行ううえで使用する推計人口は、住基人口に基づく推計人口を使用することとします。